



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階  
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

## 2013 - 2014 年度テーマ

R.I. テーマ 「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」  
R.I. 会長 ロン D・バートン  
地区ガバナー 吉 田 建 二  
クラブテーマ 「参加し行動しよう」  
クラブ会長 藤 掛 靖 元

## 本日の卓話

イニシエーションスピーチ 河村英朗君  
「健康の話」 田村順二君

## 今後の卓話予定

4/2 「落語 百年目」 金原亭馬生 様  
4/9 炉辺会合報告 各炉辺グループ代表者  
4/16 「ローターアクトに入会して」  
東京江戸川ローターアクトクラブ 幹事 石川 緑 様  
東京池袋ローターアクトクラブ 会員 長谷川 俊 様  
4/23 「健康に日々の生活を」 岡村 幸 様  
4/30 休 会



2014年3月26日

第 1354 回例会

会長 藤 掛 靖 元  
幹事 伊 石 佳 高



## 4月結婚記念日

6日 (46周年) 笹生ご夫妻 ・ 21日 (46周年) 天笠ご夫妻  
21日 (37周年) 浜中ご夫妻 ・ 25日 (32周年) 小林博ご夫妻  
26日 (39周年) 海内ご夫妻 ・ 26日 (25周年) 小池ご夫妻  
28日 (45周年) 植木ご夫妻 ・ 29日 (30周年) 上野ご夫妻

## 前回 (3/19 1353 回例会) の記録

### 来 訪 者 紹 介

◆ゲスト 2名 ロータリーの友編集長 東京築地R.C. 二神典子 様  
米山留学生 モハマト・アズ・リンダ 様  
◆ビジター 2名 東京北R.C. 高橋敏弘 様  
東京浅草R.C. 河原啓介 様

### 出 席 報 告

総会員数	休 会	出席免除	出 席	欠 席	出席率	修 正 出 席 率
47名	3名	4名	31名	10名	75.61%	1351回例会修正 欠席4名・出席率90.70%

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に！

## 会長報告 <藤掛会長>

・3/5は例会を欠席いたしまして失礼いたしました。宮崎さん、内田さんのイニシエーションスピーチ、テープにて聞かせていただきました。東日本大震災から3年が経過いたしました。3月11日14時46分、東京をも襲った激しい揺れ、実は私はその揺れを体験しておりません。当に

その時刻、中国からの出張の帰りで東シナ海の上空にありました。機長からのアナウンス「東北地方、関東地方に大震災が発生し、成田空港、羽田空港共に閉鎖されました。この飛行機は福岡空港に緊急着陸いたします。」に機内は凍りつきました。着陸後、電話は不通状態。家族は、会社は・・・もうだめか・・・何とか無事で、と祈る中、

会社と家内から、「無事です。安心して下さい。」とのメール。助かった！この時ほど安堵したことはありません。皆様もそれぞれの場所で大変な思いをされた事と思います。その後、震災ボランティア活動を通し、被災地の方々の思いを知り、またロータリーアクトの方々の素晴らしい活動を知りました。ここに本年度の方針として、「被災地復興支援」「ロータリーアクトの活動について理解を深める」を掲げさせていただいた訳でございます。震災を通し色々な新しい体験を致しましたが、一番思ったことは「こんな自分でも多少の役には立つんだ

な。」という事でした。

- ・米山留学生のアズリンダさんが留学を終えられます。7月の卓話で「マレーシアと日本の経済発展のために何ができるのか、ウィン、



モハムド・アズ・リンダ様

ウィンで出来る所から取り組んでゆきたい。マレーシアにないものを身に付けマレーシアと日本の懸け橋としてマレーシアの社会を変えてゆきたい。」とのビジョンをお話し下さいました。是非夢が実現するようお祈り致します。頑張ってください。

### 幹事報告<伊石幹事>

- ・本日、例会終了後本人の希望により米山留学生のアズ・リンダさんとの記念写真を全員で撮りたいと思います。例会終了後、10分間だけお時間を頂ければと思います。宜しくお願い致します。



### 委員会報告

#### <親睦活動委員会 浜中委員長>

- ・来週の例会で、浅草ロータリークラブ50周年記念例会の登録費10,000円のご集金と、ゴルフ同好会年会費1,000円を集金させていただきます。

#### <職業奉仕委員会 園部副委員長>

- ・4月23日、前々回卓話をしていただいた

福生ロータリーの石川様の「石川酒蔵」を「100年企業見学会」と題し職場見学を企画させて頂きました。4月23日の例会終了後バスにて浅草ビューホテルを出発致します。職場見学後、現地において懇親会も行います。多数のご出席宜しくお願い致します。

### ニコニコボックス

#### <藤掛会長、伊石幹事>

- ・ロータリーの友編集長二神典子様、本日の卓話よろしくお願い致します。

#### <植木、山尾、原田、古谷、宮村、岩戸、尾泉、天笠>

- ・本日の卓話「時代と共に歩むロータリーの友」ロータリーの友編集長、東京築地RC会員二神典子様、よろしくお願い致します。

#### <小林(雅)>

- ・古谷さん、結構なものを頂戴し、ありがとうございます。楽しんで来ます。

#### <植木>

- ・昨日、八人目の孫が生まれました。

#### <米山カウンセラー 岩田>

- ・米山奨学生アズ・リンダさんが参加する最終例会です。皆様1年間温かいご支援をありがとうございました。

#### <加藤、小林(博)>

- ・三寒四温、寒暖の差が激しい今日この頃です。体調管理には十分ご注意ください！

#### <永井>

- ・結婚記念日に花束を戴きまして誠に有難うございました。

#### <後上>

- ・100%出席の表彰をして戴きまして誠に有難うございました。

## 「時代と共に歩むロータリーの友」



ロータリーの友編集長  
東京築地ロータリークラブ会員

二 神 典 子 様

『ロータリーの友』は、1953年に創刊し、その後の日本の発展、移り変わりとともに、歩んできました。ですから、『ロータリーの友』の記事を見ますと、日本もこんな時代があったのだなと、驚くものがたくさんあります。寄贈された救急車の写真を見ると、形が随分違ってきます。また、ロータリアンや奥さまたち、そして子どもたちの服装や髪型も随分変わりました。

以前はB5判とサイズも小さく、小さな活字がびっしり詰まった、あまり写真のない雑誌でした。2002年7月号から、サイズを少し大きく（A4変型判）し、写真も大きくしました。これは、読者、すなわちロータリアンの世代の変化に合わせたものです。

編集方法もIT技術の進歩によって変化し、また、今年の1月号からは電子版を配信するようになりました。

このように創刊以来、記事の内容、編集方法がいろいろと変わってきていますが、一つだけ変わらない点があります。それは、この雑誌が、日本のロータリアンによって作られ、日本のロータリアンの活動や意見を映し出す鏡のような存在であるということと、日本のロータリアンが読んでくださっているということです。

多くの情報があふれている時代ですが、多すぎでかえって何を見たらいいのかわからなくなっています。情報への入り口として、『ロータリーの友』をご活用いただけるような『友』誌をつくっていきたいと思っています。

## 読書感想シリーズ5

### 「首都崩壊」

高嶋哲夫 幻冬舎

原田 毅

タイトルに惹かれ、高嶋作品を初めて読んだ。原子力科学者でもあり、大変な作家である事が良く分かった。近い将来に関東大震災を上回る首都直下型地震が起こるといわれて久しいが、この本によると、ある若手地震学者の研究により、その発生確率が5年以内、90%以上に高まったという事実から始まる。この事実が公になれば、東京がパニックに陥り、日本経済は破綻し、世界恐慌にまで発展しかねない。皮肉な事に、この極秘情報はアメリカ大統領の特使によって日本にもたらされる。

もし冬の夕方にマグニチュード8以上の首都直下型地震が起これば、死者1万3,000人、負傷者20万人、経済損失は120兆円、国家予算の1.4倍に及ぶ。その結果、世界中の株価が暴落し、失業者が増大し、食料・水・エネルギーが不足し、餓死者が続出する。場合によっては戦争が勃発するかもしれない。(件の地震学者の想定)

日本はこの20年間に、阪神・淡路大震災、東日本大震災という二つの巨大地震に見舞われた。国家存亡の危機ともいべきこの災厄をなんとか乗り越えることができたのは、首都東京が無事だったからだ。もし東京が被災地になれば、今度こそ破綻は免れない。それを見越したかのように、アメリカのヘッジファンドと格付け会社が動き始める。そして国際政治や国際経済の生々しい実態が明かされていく。

地震による国家崩壊の危機を回避するためには首都を移転するしかない。日本はこれまで危機に直面するたびに遷都によって国難を回避し、新しい時代を切り開いてきた。ハーバード大学で都市経済と遷都を研究してきた国土交通省の若きキャリア森崎の進言によって国交省にプロジェクトチームがつくられ、移転計画は具体的に動き始める。(後はお楽しみ)